

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

弊社の企業理念【自然との共生】【共に働く者との共栄】【共に磨く技術を持って社会に貢献する】に基づき、地域から愛される企業、社会・社員・取引先との三方勝利を目指す。最高の技術を身に付け社会に貢献し、未来へつなぐ責任を果たす。また、社会組織だけでなく従業員一人一人がSDGs達成の意識を高められるよう活動していく。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	建設現場において排出される産業廃棄物の排出量を削減する。 計算式として、廃棄物(kg)/売上(円)	産業廃棄物の排出量 (廃棄物(kg)/売上(円)) 2023年 約0.002→ 2026年 約 0.002以下
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	高齢者雇用の積極的採用と雇用延長 日本の少子高齢化により、人手不足が懸念される中で高齢者の活躍を担う。現在、希望者の定年延長を行っているが継続して雇用の延長に取り組む。	高齢者採用 2023年 1名→2026年 1名 高齢者雇用延長 2023年 1名→2026年 2名
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	ICTの導入促進により、生産性、品質及び安全性を向上させ、工期や労働時間を短縮、労働生産性の向上率を上げると共に賃金上げを実施する。	労働生産性向上率 2026年 3%(2023年比) 賃金増加率 2026年 3%(2023年比)

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

建設業は、地域住民の理解と協力のもとに工事を進めていかななくてはならない。住環境への影響に配慮し、住民との対話を重ねるために、活発なコミュニケーション、定期的なイベントを開催し、信頼関係を構築している。社員同士のコミュニケーションを図るために社内イベントも開催している。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	建設現場において排出される産業廃棄物の排出量を削減する。計算式として、廃棄物(kg)/売上(円)	産業廃棄物の排出量 2020年 約 0.004 →2023年 約 0.003以下
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	現場での細かい分別や木材などの一部を再利用することにより排出量を削減することが出来た。	2023年 約0.002 達成
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	高齢者雇用の積極的採用 日本の少子高齢化により、人手不足が懸念される中で高齢者の活躍を担う。現在、希望者の定年延長などを行っているが、更に他社で退職した高齢者の採用に積極的に取り組んでいく。	2020年 0件(年間) →2023年度 2件(年間)
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	他社で退職した高齢者の採用を行うことができた。 今まで以上に高齢者が働きやすいように業務内容や勤務形態の柔軟化を推進するとともに高齢者が安心して働けるように健康管理と労働安全対策を強化した。	2023年 2名 達成
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	ICTの導入促進により、生産性、品質及び安全性を向上させ、工期や労働時間を短縮、労働生産性の向上率を上げると共に賃金上げを実施する。	2020年 労働生産性向上率0%賃金増加率0% →2023年 労働生産性向上率12.9%・賃金増加率2.0%
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	現在、国交省・熊本県発注の工事にてICT導入による施工を行っている。 2020年度は会社全体で25,000時間かかっていた作業時間が2023年度時点で23,544時間に短縮することが可能となった。このことにより生産性が向上し、国土交通省の目標としている【新3K(給与が良い、休暇がとれる、希望もてる)】の魅力ある会社作りに取り組むことができています。 労働生産性が指標に届かなかった理由としては、新入社員の育成にも力を入れていた為、労働生産性が一時的に下がり、指標に届かなかったと考えられる。	2023年 労働生産性向上率10.2% 賃金増加率23.3%

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する**実績を数値を用いて記載してください。**